

瀬野川水系における有機フッ素化合物の調査結果（第8報）について

今回の河川・水路、地下水の水質調査において、黒瀬川水系については、調査結果がPFOS等の暫定指針値を大幅に下回っており、環境調査検討委員会の委員からいただいた意見などを踏まえ、瀬野川水系で検出されているPFOS等の影響はないことが確認されましたので、流域の皆様には安心していただきたいと考えております。

瀬野川水系については、弾薬庫よりも上流部では汚染は確認されていない一方、弾薬庫の敷地から流れ出る水からは、暫定指針値を上回る高濃度の有機フッ素化合物が検出されており、原因が弾薬庫の敷地に由来する可能性が高くなったため、国を通じて米軍に対して、敷地内における水質調査及び土壌調査を実施するなど、原因の究明を行うことを要請してまいります。

有機フッ素化合物が検出された昨年末以降、瀬野川水系付近の市民、事業者の皆様方は、大変なご苦勞をされているところであり、本市としては一日も早い通常の暮らしを取り戻せるよう、広島県をはじめ関係機関と連携して最善を尽くしてまいります。

令和6年3月14日

東広島市長 高垣 廣徳